

新小山市市民病院ニュースレター

Shin-yama City Hospital News letter

Vol.49

**目次 1 病院長挨拶****2 診療実績（循環器内科）****3 医師紹介****4 医師紹介****5 研修医紹介****6 お知らせ**

病院長就任のご挨拶

理事長・病院長 佐田 尚宏

本年 4 月に地方独立行政法人新小山市市民病院の理事長・病院長を拝命致しました。

13 年間務められた島田和幸先生の後任は、大変荷が重いと感じていますが、皆様どうぞ宜しくお願い致します。私は 2000 年に自治医科大学へ着任し、2015 年から 2022 年までの 7 年間、附属病院の病院長を務めてまいりました。25 年間栃木県小山地区で仕事をしてきましたので、引き続きこの地域の医療に携われることは有り難く、大変光栄に感じています。



自治医科大学在任中は、小山地区医師会の先生方には多大なるご支援をいただきました。特に 2013 年以降、地域医療構想の話し合いの中で医療機関の連携と役割分担について交わされた議論は、新型コロナウイルス感染症の影響で一時停滞したものの、新地域医療構想の目標である 2040 年の小山地区の医療提供体制のあり方を考える上で、意義あるものだったと感じています。小山地区および栃木県南医療圏の今後の医療計画を検討するにあたり、栃木県全体の医療を俯瞰的に捉えることが重要であると考え、昨年 6 月より栃木県医師会の常任理事を拝命いたしました。栃木県の医師の増員と外科診療の維持という課題に対しても、小山地区からの発信力を強化し、最大限の努力を重ねてまいり所存です。

新小山市市民病院では、小山市および近郊の 15 病院で小山市近郊地域医療連携協議会を設立し、連携を強化してまいりました。現在の厳しい医療財政と働き方改革を考慮して、今後の小山地区の医療のあり方を考える上で、特に重要なのは医療の効率化です。特に、夜間・休日の救急医療をいかに効率的に提供するかが大きな課題となっています。この点についても、医師会の先生方との対話と協力が不可欠であり、自治医科大学附属病院との連携をさらに深めながら、最善の対応を図っていきたいと考えています。皆様のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

パルスフィールドアブレーション (PFA) を導入しました

PFA 導入施設は栃木県内において、自治医大と当院の 2 施設になります。(2025.3.1 現在)

不整脈等でアブレーションの適応と考えられる患者さんがおられましたら、是非ともご紹介くださいますようお願いいたします。



パルスフィールドアブレーション (PFA) とは

これまでのカテーテルアブレーションは、カテーテル先端から高周波電流を流し、熱を用いて心筋を焼灼する方法でした。熱を介するため、心筋周囲の組織を傷つける危険もありました。

これに対して PFA は、短時間の周期で高電場を発生させることができるため**熱は発生しません**。

また、組織特異的な電場の閾値があるため、**心臓周囲の組織に影響を与えることなく、心筋特異的に焼灼することが可能**になりました。従来治療とパルスフィールドアブレーションを比較すると、有効性は同等であるものの、**安全性と手技時間の短縮**が期待されています。

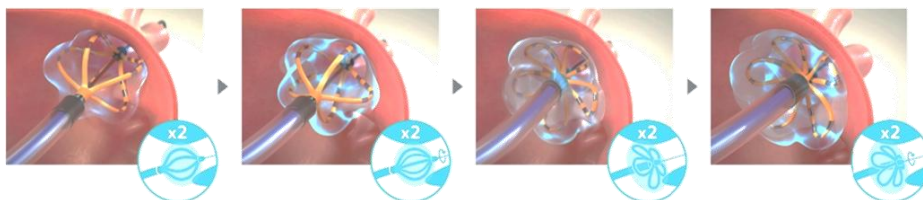
当院での実績

当院では、ボストン・サイエンティフィックジャパン株式会社の FARAPULSE™ を 2025 年 2 月に導入いたしました。

	件数
3 月	4 件
4 月	4 件
5 月 (5/16 現在)	3 件

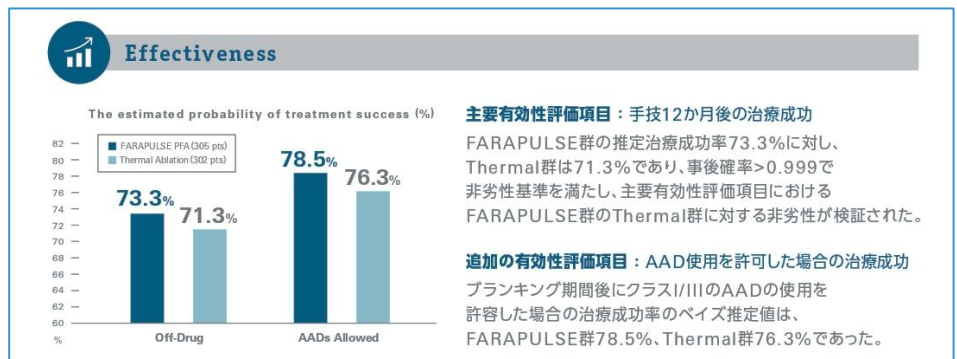
導入後、順調に PFA をしています。

FARAWAVEのPVIワークフロー



循環器内科では、循環器一般、狭心症や心筋梗塞、不整脈、心不全、高血圧などの診療を幅広く行っています。

外来での心臓超音波検査、24 時間心電図検査、24 時間血圧検査、運動負荷検査、冠動脈 C T 検査に加えて、入院での心臓カテーテル検査、および経皮的冠動脈形成術、さらに永久ペースメーカー植え込み術が可能です。特に急性心筋梗塞の治療については、夜間・休日を問わず 24 時間 365 日体制で緊急カテーテル検査の対応をしています。



昨年度の退院患者の DPC6 桁コード
よりの件数が多いものから 5 件を
表示 ↓

MDC6 名称	患者数
狭心症、慢性虚血性心疾患	347
頻脈性不整脈	180
心不全	160
急性心筋梗塞（続発性合併症を含む）、 再発性心筋梗塞	128
徐脈性不整脈	82



-----新任医師紹介（3月、4月入職）（氏名、診療科、ひとこと）

やまもと しんいち
山本 真一

呼吸器外科部長

このたび、新小山市民病院において新たに呼吸器外科を立ち上げる運びとなりました。自治医科大学から着任いたしました山本真一と申します。

これまで小山地区には呼吸器外科を専門とする診療科がなく、地域の患者様が遠方の医療機関を受診せざるを得ない状況が続いておりました。

肺がん、気胸、膿胸、縦隔腫瘍などの呼吸器疾患に対し、低侵襲手術を含めた最新の治療を実践するとともに、地域の医療機関の皆様と連携し、質の高い医療を届けられるよう円滑な診療体制を構築したいと考えております。患者様のご紹介やご相談など、お気軽にご連絡いただければ幸いです。

よろしくお願い申し上げます。



うすい りえ
薄井 里英

婦人科部長

令和7年4月に婦人科に着任しました薄井 里英です。群馬大学医学部を卒業後、自治医科大学産婦人科で主に産科診療に従事していました。

この度、大学からの派遣として新小山市民病院で勤務することになりました。今までは非常勤医が曜日限定で診療を行なっていましたが、今後は毎日診療を行なう予定です。常勤は一人ですが、自治医大の助けも借りて婦人科全般の診療を行わせていただきます。

地域医療にお役に立てるよう尽力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



めぐろ よしゆき
目黒 由行

外科副部長

令和7年4月から外科に赴任しました 目黒 由行 と申します。

学生時代から消化器外科に興味を持ち 自治医科大学で学んで参りました。2005年に自治医科大学卒業後、茨城県内で外科医として地域医療に従事し、2017年に自治医科大学外科医局に入局しました。その後は 関連病院では消化器一般外科を幅広く、大学では肝胆膵外科の治療に携わって参りました。これまでの経験を活かし外科分野（特に肝胆膵疾患）や救急診療に関しまして小山地区医師会の先生方と連携させて頂けますと幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。



にしひら たかひと
西平 崇人

脳血管内治療科副部長

令和7年3月から脳血管内治療科に赴任しました西平 崇人と申します。

獨協医科大学脳神経内科に入局し、専門分野である脳卒中診療の中でも、特に脳血管内カテーテル治療による血栓回収療法を始めとした超急性期脳卒中治療について経験を積んで参りました。

これまで経験してきた知識や技術を元に小山地区医師会の先生方と連携をさせていただければ幸いです。微力ではございますが、地元である県南地域医療に貢献できるよう尽力して参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。



ふじた ひろまさ
藤田 裕壮

麻酔科副部長

自治医科大学麻酔科より赴任いたしました。手術を受ける方への全身麻酔やブロック麻酔を専門としています。よろしくお願い申し上げます。

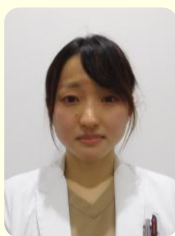


さいとう みずほ
齋藤 瑞穂

呼吸器内科

令和 7 年 4 月から呼吸器内科に赴任しました 齋藤 瑞穂 と申します。

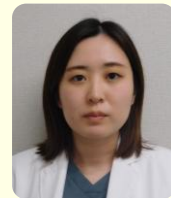
獨協医科大学を卒業後、自治医科大学呼吸器内科に入職し、呼吸器疾患について研鑽を積んで参りました。これまで経験してきた知識、技術をもとに小山地区医師会の先生方と連携させていただけますと幸いです。微力ではございますが、県南地域医療に貢献できるよう尽力して参ります。何卒よろしくお願いいたします。

もりした なおこ
森下 奈緒子

糖尿病・代謝内科

令和 7 年 4 月から糖尿病・代謝内科に赴任しました 森下 奈緒子 と申します。

獨協医科大学を卒業後、自治医科大学附属病院で初期研修を行い、自治医科大学附属病院・内分泌代謝科に入局しました。糖尿病や甲状腺疾患などの内分泌疾患について臨床現場で研鑽させていただきました。これまで学んだことをもとに、糖尿病、内分泌疾患について新小山市民病院でも微力ながらも貢献させていただけたらと思います。まだまだ知識不足・不慣れなことが多く、ご迷惑をおかけしてしまうことがあるかと存じますが、精一杯頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

みつはし たくみ
三ツ橋 拓実

消化器内科

令和 7 年 4 月から消化器内科に赴任しました 三ツ橋 拓実 と申します。栃木市出身

で、栃木高校、日本大学卒業後、自治医科大学附属病院で初期研修を修了し、足利市で小児科診療に従事し、自治医科大学消化器肝臓内科に入局すると共に消化器内科へ転向しました。医師 7 年目、消化器内科 3 年目となります。消化器内視鏡治療に興味を示し、研鑽を重ねております。日々の診療の中で、医療従事者の皆様や患者さんから多くのことを学ばせていただき、小山地区ならびに周辺地域により良い医療を提供できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

さいとう あさこ
齋藤 有栄子

消化器内科

令和 7 年 4 月から消化器内科に赴任しました 齋藤 有栄子 と申します。

地元、大分大学を卒業後、自治医科大学附属病院にて研修した後に、同病院消化器内科に入局し、消化管/肝/胆・脾 各領域チームをローテーションしながら研鑽を積んで参りました。まだまだ経験に乏しく、また初めての市中病院での勤務となりますため、不慣れな点、不勉強な点が少々あるかと存じますが、小山地区医師会の先生方と連携させて頂けると幸いです。微力ながら精一杯つとめますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

きのした まお
木下 真緒

循環器内科

令和 7 年 4 月から循環器内科に赴任しました 木下 真緒 と申します。日本大学

医学部を卒業後、自治医科大学附属病院で初期研修を修了し、自治医科大学附属病院循環器内科に令和 5 年に入局しました。昨年はとちぎメディカルセンターしもつがに医局より派遣され勤務しておりました。

若輩者ではありますが、栃木県南部で緊急でのカテーテル治療を行うことができる医療機関として、小山地区の地域の先生方と連携させていただき、地域医療に貢献できるように尽力して参ります。何卒よろしくお願いいたします。

おおはし あやか
大橋 采夏

小児科

令和 7 年 4 月から小児科に赴任しました、大橋 采夏 と申します。自治医科大学を

卒業後、自治医科大学附属病院で初期研修を行い、同病院小児科のプログラムで後期研修を行っています。本年度で小児科 3 年目です。小児科 1 年目は芳賀赤十字病院、小児科 2 年目は大学病院に勤務し、小児科疾患の幅広さとそれぞれの分野の奥深さを実感しました。今年度は県南地域の子どもの健康と笑顔を守れるように尽力して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

ししだ たくろう
穴田 拓朗

小児科

令和 7 年 4 月から小児科に赴任しました 穴田 拓朗 と申します。大阪生まれで、

幼稚園から高校までを沖縄県で過ごしていました。大学は、徳島大学に入学、卒業後は自治医科大学で初期研修を行い、そのまま自治医科大学附属病院の小児科に入局しました。本年度で小児科専攻医 2 年目となります。新しい環境で、右も左も分からないなか、色々ご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。まだまだ、若輩ではありますが、様々なことを学びながら、精一杯頑張っていきたいです。何卒よろしくお願いいたします。

すとう けいた
須藤 慧多

外科

令和 7 年 4 月から外科に赴任しました、須藤 慧多 と申します。群馬大学卒業後、

自治医科大学消化器一般移植外科に入局し、消化器外科疾患を中心とした検査業務、手術加療について臨床の研鑽を積んで参りました。これまで経験してきた知識、技術をもとに、内視鏡検査や外科的加療について、小山地区医師会の先生方と連携させていただけますと幸いです。微力ではございますが、県南地域医療に貢献できるよう尽力して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



まつもと まりこ
松元 麻里子

形成外科

このたび、令和 7 年 4 月より形成外科に勤務することになりました、松元 麻里子と申します。これまで自治医大、古河赤十字病院、獨協医大で研鑽を積んできましたが、新たに小山という新しい環境で診療に携わることが出来ることを大変光栄に思います。形成外科は、機能と整容の両面から患者さんの生活の質を向上させる診療科です。これまで培った知識や技術を活かしつつ、さらに研鑽を重ね、地域の皆様のお役に立てるように努めてまいります。まだまだ学ぶことも多いですが、スタッフの皆様と協力しながら、一日でも早く病院に貢献できるように、日々精進してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

いがらし たけし
五十嵐 丈之

耳鼻咽喉科

本年度から耳鼻咽喉科に赴任した五十嵐丈之と申します。自治医科大学耳鼻咽喉科に入局して、手術・外来・入院診療に従事して参りました。専門医を昨年取得し、耳鼻科の中では頭蓋・顔面（鼻・耳）、甲状腺への造詣を深めていきたいと考えています。また、県南地域圏の地域医療にも貢献していく所存です。ジェネラルに多くの患者を診ながら、手術など時間と専門性を要する医療の提供には、医師会の先生方のご協力が不可欠と考えています。精一杯頑張っ参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



----- 初期臨床研修医入職 -----



今年も 4 名の初期臨床研修医が入職しました。毎日朝早くから電カルテを確認し、夜遅くまで研修に励んでいます。みんなで図書室に本を借りに行ったり、研修医室に戻ってくると仲良くお昼ご飯を食べ、声を掛け合って勉強している姿も見かけます。医療・連携の会やポットラックなど、お会いする機会もあるかと思ひます。励みになると思ひますので、どうぞ気軽にお声かけください。2 年目研修医と同様に 1 年目研修医もよろしくお願ひいたします。

てづか げんき
手塚 元貴

令和 7 年 4 月より、新小山市市民病院にて初期臨床研修医として学ばせていただいております。栃木県宇都宮市で生まれ育ち、金沢大学を卒業しました、手塚 元貴と申します。初心を忘れず、努力と研鑽を怠らず、患者さんが安心できる医療を提供できるように、日々努力していく所存です。地域の医療に貢献できるようしっかりと学んでいきたいと思ひます。至らない点が多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

みと や ゆう
三刀屋 佑

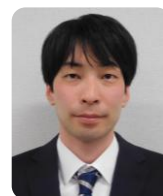
令和 7 年 4 月より、新小山市市民病院にて、初期臨床研修医として学ばせていただいております、三刀屋 佑と申します。私は、患者さん一人ひとりに寄り添い、信頼されるような医療を提供できるように努めてまいります。研修を通じて、医学的知識や技術を磨くと共に、地域の医療ニーズに答えるべく、積極的に学び続ける所存です。また、医療チームの一員として、先輩方や他職種の方々とも協力し、良好な医療環境を築いていくことも大切にしたいと考えております。今後とも地域医療に貢献できるように努めてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

にしざわ けん
西沢 研

令和 7 年 4 月より、新小山市市民病院にて、初期臨床研修医として学ばせていただいております、西沢 研と申します。日本大学を卒業し、いよいよ医師として社会に貢献できるようになりました。はじめの 2 年間は、各科をローテーションします。医師としての基礎を身につけることのできる絶好の機会と思ひ、貪欲に臨床、実践をし、習得していきたいと思ひます。漠然とですが、将来内科を専門として、地域医療に携わりたく、産業医の取得も目指しております。講習会等でご一緒させていただくこともあるかと存じますが、紹介患者さんのことも含めて、お気軽にお声がけ頂けたら幸ひに思ひます。また、小山地区医師会の先生方と親密に連携させていただき、地域に信頼される質の高い医療を目指して、頑張っていきたいと思ひております。よろしくお願ひいたします。

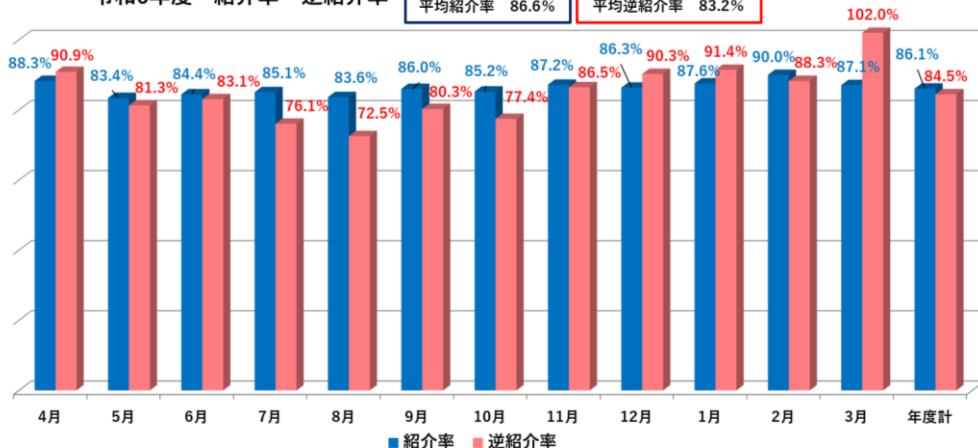
みやた りょうたろう
宮田 遼太郎

令和 7 年 4 月より、新小山市市民病院にて初期臨床研修医として学ばせていただいております、宮田 遼太郎と申します。出身は東京都で、熊本大学を卒業し、この度初めて栃木県にやって参りました。初期研修医として先生方から多くのことを学ばせていただき、持ち前の元気で医師としての良いスタートを切りたいと考えております。また、趣味として登山や野球をしておりますが、新たな土地で多くの新鮮な経験をしたいと考えております。栃木のことも色々教えていただけたら幸ひです。至らない点も多々あるかと思ひますが、地域の医療に貢献できるように一生懸命頑張りますので、宜しくお願ひいたします。



患者支援センターからのお知らせ

令和6年度 紹介率・逆紹介率



いつも当院運営にご理解、ご協力頂きありがとうございます。

令和6年度は、
平均紹介率 86.6%
平均逆紹介率 83.2%
前年度比で紹介患者数
598人増でした。

引き続きよろしくお願い
いたします。

地域完結型医療・連携の会 WEB ライブセミナー

令和6年度 地域完結型医療・連携の会には、延べ310名（院外153名、院内157名）新たに16名の方に参加いただきました。今年度からは、新たに「地域完結型医療・連携の会の録画配信」を開始しました。配信視聴をご希望の方は、患者支援センター 医療連携室へ電話、もしくはメールでご連絡をお願いいたします。今後も皆様により満足いただけるセミナーになるよう努めてまいります。次回「第55回」は、7/10(木)に開催します。皆様の参加をお待ちしております。

- ・日時 3月13日(木) 19:15 ~
- ・座長 田野副院長
- ・症例報告者、症例
小児科 高岩医師
てんかん、心因性非てんかん性発作と鑑別を要した甲状腺クリーゼの14歳女子
外科 高寺医師
右大腿神経を原発とする後腹膜神経鞘腫の1例
消化器内科 小野医師
透析導入を契機に診断された
C型肝硬変・肝細胞癌の1例
- ・参加者 50名（院外24名、院内26名）



- ・日時 5月15日(木) 19:15 ~
- ・座長 東副院長
- ・症例報告者、症例
整形外科 渡邊医師
人工股関節全置換術
皮膚科 塚田医師
尋常性乾癬
形成外科 松元医師
神経鞘腫について
- ・参加者 66名
(院外31名、院内35名)

ポットラック
カンファレンス

偶数月、
第1火曜日 19:15
オンライン(Zoom)にて
開催しています。

6/3, 8/5, 10/7,
12/2, 2/3

	日 程	症例報告
第55回	令和7年 7月10日(木)	外科・耳鼻咽喉科・循環器内科
第56回	令和7年 9月11日(木)	脳神経内科・糖尿病代謝内科・泌尿器科
第57回	令和7年 11月13日(木)	脳神経外科・心臓血管外科・眼科
第58回	令和8年 1月8日(木)	循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科
第59回	令和8年 3月12日(木)	消化器内科・外科・小児科



地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市大字神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

URL <https://tochigi.hospital-shinoyama.jp/>職員採用サイト <https://recruit.soch.jp/#works>

患者支援センター (受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室: 0285-36-0252 (緊急の患者紹介・転入相談・その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル: 0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・脳神経内科・循環器内科の受診予約・胃カメラ・心エコー・腹部エコーなどの検査予約)

医療相談室: 0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関すること・MSWに連絡・その他、外来患者の各種相談に関すること)

FAX: 0285-36-0352

メール: renkei@hospital.oyama.tochigi.jp ※メールでも受付しております。